

バリシチニブにより中等症～重症 COVID-19 肺炎患者の 30 日死亡率が低減

Baricitinib reduces 30-day mortality in older adults with moderate-to-severe COVID-19 pneumonia

Abizanda P, Calbo Mayo JM, Mas Romero M, et al.

【J Am Geriatr Soc. 2021 Oct;69(10):2752-2758】-peer reviewed(査読済み)

(要旨)

◇背景

高齢者は、COVID-19による重症化や死亡のリスクが最も高い。無作為化試験データではバリシチニブがこれらの患者の転帰を改善することが示されているが、高齢者コホートに焦点を当てた層別解析は未だ十分行われていない。本研究では、高齢の中等症～重症COVID-19肺炎患者を対象にバリシチニブの有効性解析を行った。

◇方法

本研究は、傾向スコア(PS)^Aでマッチングした後ろ向きコホート研究である。中等症～重症COVID-19肺炎で入院したCOVID-AGEコホートおよびAlba-Scoreコホートの患者^Bを、70歳未満(バリシチニブ投与群86人、PSマッチング対照群86人)または70歳以上(バリシチニブ投与群78人、PSマッチング対照群78人)の2つの年齢層に分けた。30日死亡率をKaplan-MeierモデルとCox比例ハザードモデルで解析した。

◇結果

70歳以上の患者群の平均年齢は79.1歳、70歳未満の患者群の平均年齢は58.9歳であった。女性は29.6%であった。バリシチニブ治療により、70歳以上の患者において全死因死亡は大きく48%減少し、30日死亡率の絶対リスクは18.5%低下[n/N:バリシチニブ16/78(20.5%), PSマッチング対照群30/78(38.5%); $p<0.001$]するとともに、調整後の30日致死率を低下させた[HR 0.21;95%信頼区間(CI)[0.09～0.47]; $p<0.001$]。死亡率に対する有益な効果は、70歳未満の年齢層でも観察された[30日死亡率の絶対リスクの8.1%低下, HR 0.14;95%CI[0.03～0.64]; $p=0.011$]。

◇結論

70歳以上のCOVID-19肺炎による入院患者において、バリシチニブは死亡の絶対リスクの18.5%低下と関連している。

^A propensity score

^B 本研究には、COVID-AGE 研究(NCT04362943)およびAlba-Scoreプロジェクトから患者を組み入れた。